



# 社会福祉法人 白鳩会 花の木農場

～“ノウフク”にGAPを活用～



発表者

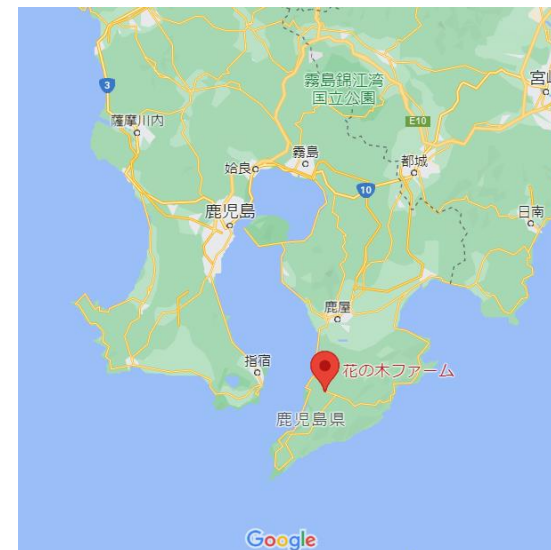
合名会社南商店

代表執行代表社員 浜平 博行



# 組織概要

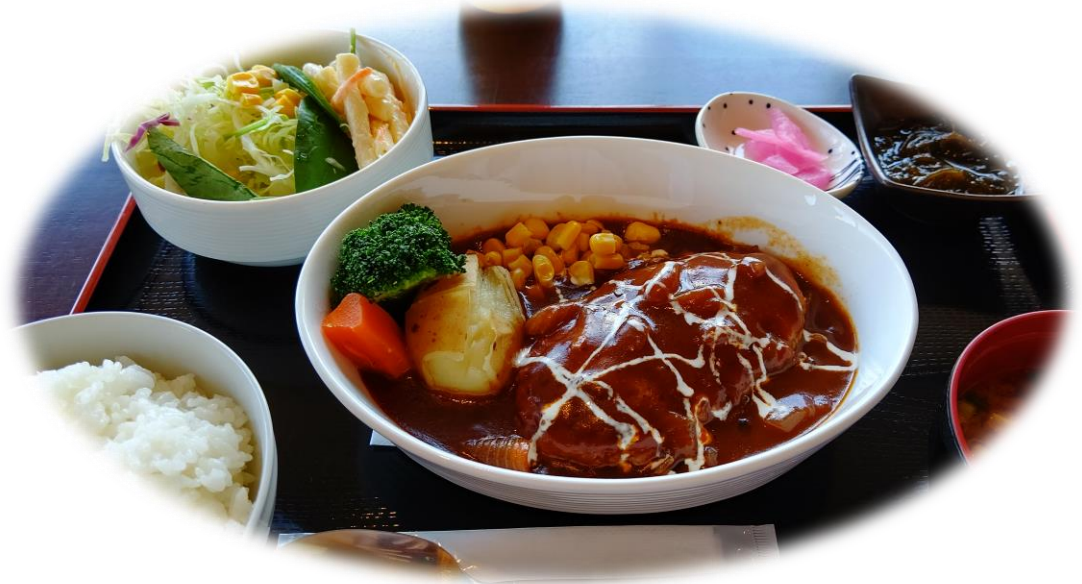
- 社会福祉法人白鳩会 花の木農場
- 1972年設立
- 鹿児島県肝属郡南大隅町
- 代表者 中村 隆一郎 理事長 (2019年より)
- 知的障がい者の福祉事業
- 利用者：症状の重い人から軽い人までいらっしゃって、生活介護から就労支援まで幅広く行っている。



# 農業部門 事業概要

- 社会福祉法人白鳩会設立6年後の1978年に、農事組合法人ねじめ生産組合（所在が旧根占町のため命名）を設立。  
社会福祉法人と一体的に運営。  
農福連携のパイオニアとして現在まで活動。
- 生産品目：茶(7ha)、養豚（11ha、年間約2,000頭、常時900頭）  
ニンニク、水耕（サラダホウレンソウ、チマサンチュ、ルッコラ）、  
花の苗、ミニトマト、シイタケ、オクラ、ジャガイモ、梅、ブルーベリー、ハーブ類・・・  
※すべて加工・販売まで展開。
- レストランは施設内に2か所を併設、鹿児島市内に2店舗を展開。
- 農場では、130名の利用者が活躍。

# 施設外観



# 組織沿革

- 昭和47年 社会福祉法人 白鳩会 設立認可
- 昭和48年 おおすみの園 開所
- 昭和53年 農事組合法人 根占生産組合 設立
- 昭和56年 セルフおおすみ（現 花の木ファーム） 開所
- 平成10年 セルフ花の木（現 第2花の木ファーム） 開所
- 平成12年 鹿児島市にアンテナショップ 開設
- 平成17年 鹿児島市に花の木大豆工房 開所
- 平成19年 鹿屋市に地域活動支援センターおおすみ 開所
- 平成20年 鹿児島市に花の木冷菓堂 開所
- 平成23年 鹿児島市に花の木冷菓堂ドルフィンポート店 開設
- 平成24年 鹿児島市に花の木カノン 開所
- 平成25年 鹿児島市に放課後等デイサービス花の木カノン 開所
- 平成25年 鹿屋市に白鳩会障がい者相談支援センター 開所
- 平成28年 鹿児島市に相談支援事業所花の木 開所

# GAP取り組みへのキッカケ

- 当初、東京オリパラ2020に出品する為にグローバルGAPを検討。
- あとから“GAPとノウフクの親和性”について気づく。  
(特に、労働安全、労務管理・・・)  
※導入時の丁寧なリスク評価会議が部署間の「業務の相互理解」に役に立った。
- 吉田行郷先生（元農林水産政策研究所、現：千葉大教授）  
販路開拓等よりは、環境作りや親御さんなどへの安心材料としてGAPの取組をPRできるのでは…とのご指導をいただく。  
⇒ASIAGAPに切り替え取り組む



# 農場の問題点

- ① ケガ・事故の発生
- ② 整理整頓
- ③ セクション割でのコミュニケーションの希薄

# GAPによる改善

- リスク評価の徹底により、利用者の能力や体力に応じた業務の決定や、工具類の置き場所の決定など実施。
- ① ケガや事故が減った。
  - ② 紛失物などが減り、作業効率が上がった。
  - ③ 生産、加工、販売のセクションが一体としてチームで取り組めるようになった。（コミュニケーションが増えた。）
  - ④ 「異物混入の危険性」と「作業者の安全」など、“生産”と“福祉”の支援を同時に考えられるようになった。
  - ⑤ 業務の見える化が進んだ。（イラストの活用などにより）
  - ⑥ GAPに取り組むことによりモチベーションアップになった。E.g. 利用者さん&職員・・・（大変といいながらも・・・）



# ノウフクJASとの関係

1. 生産記録類帳簿はほとんどそのまま使える。
2. 地域の耕作放棄地解消、利用者や親御さんへの支援の質向上、地域のコミュニケーションを活性化しているか等  
ノウフクJAS特有の基準も存在

⇒GAPはあくまでベース！  
さらに応用・発展を

みんなで耕そう！



NOUFUKU PROJECT

# 今後の取組み

- 畜産でもJGAPの取得に取組中！  
2023年度の認証取得を目標。
- “ノウフクJAS”と“GAP”の取組をさらに深化！！  
⇒ 共通項目の合理化によって事務効率の向上。  
⇒ 利用者の「労働安全」と「やりがい向上」に向けてマニュアルのブラッシュアップ。
- 農業と福祉、多様な活動を通じた“地域貢献”。

